

## 教育臨床支援学

[講義] 第1・2学年 前期 選択 2単位

《担当者名》冨家直明 tomie@hoku-iryo-u.ac.jp

## 【概要】

教育分野における臨床的支援の現状や実際例を参照しながら、教育に関する心理学に関する理論や方法を理解し、分野の特徴や文脈に合わせながらそれらを実践する力を身につける。

## 【学修目標】

教育現場において生じる問題とその背景を理解し、説明できる。

教育行政、教育関連法規、内発的及び外発的動機づけ、自己効力感、原因帰属、適性処遇交互作用、セルフモニタリング、学習性無力感、不登校、学級崩壊、いじめ、非行、子どもの自殺など、に関する知識の獲得

教育現場における心理社会的課題と必要な支援の実践について概説できる。

学業不振、スクールカウンセリング、キャリアカウンセリング、教育関係者へのコンサルテーション、アセスメント、チーム学校（多職種連携）、学生相談、緊急支援、健康教育、メタ分析など、に関する知識及び技術の習得

自律発展的学習姿勢の確立ができる。

省察的实践に基づく自己理解を深め、自己研鑽を通じての自律発展的学習姿勢を獲得する

## 【学修内容】

| 回  | テーマ                    | 授業内容および学修課題   | 担当者  |
|----|------------------------|---|------|
| 1  | 教育行政と諸課題               | 学校設置の法体系、教育行政制度の仕組み、それらに関わる諸課題について概観する。日本国憲法、教育基本法、学校教育法、地教行法の要点を理解する。                            | 冨家直明 |
| 2  | 教育行政と諸課題               | 自治体の教育行政執行方針、中央教育審議会、教育委員会制度、生徒指導提要、GIGAスクール、令和の日本型学校教育、こども家庭庁の要点を理解する。                           | 冨家直明 |
| 3  | キャリアカウンセリング            | キャリアカウンセリングの理論と歴史を概観する。   | 冨家直明 |
| 4  | キャリアカウンセリング            | サビカスによるナラティブアプローチを例に、キャリアカウンセリングの技法を体験的に理解する。   | 冨家直明 |
| 5  | 認知的感情制御理論              | 認知的感情制御理論の背景を理解する。  | 冨家直明 |
| 6  | 自己調整学習理論               | 自己調整学習理論の背景を理解する。   | 冨家直明 |
| 7  | 非認知理論                  | ヘックマンが提唱する非認知に関わる理論を概観する。   | 冨家直明 |
| 8  | 社会情動理論                 | 社会情動理論の背景を理解する。   | 冨家直明 |
| 9  | 学校適応理論                 | 学校適応に関する諸理論を概観する。   | 冨家直明 |
| 10 | 成人学習理論                 | 成人学習に関する理論を概観する。  | 冨家直明 |
| 11 | スクールカウンセリングの実際         | スクールカウンセリングで用いられる面接、アセスメントに関する技術を習得する。  | 冨家直明 |
| 12 | スクールカウンセリングの実際         | スクールカウンセリングで用いられる面接、アセスメントと、情報共有に関する技術及びその問題点を考える。  | 冨家直明 |
| 13 | スクールカウンセリングの実際         | スクールカウンセリングで用いられる面接、アセスメント、情報共有に関する技術、倫理的判断、法的検証技術を考える。   | 冨家直明 |
| 14 | 教育分野における心理支援のエビデンス     | 教育現場に対して行われた心理支援の成果に関するエビデンスを振り返りメタ分析を試みる。  | 冨家直明 |
| 15 | 教育分野における心理支援力の評価に関する理論 | 公認心理師国家試験問題をはじめ、臨床心理士や社会福祉士、公務員試験問題などの過去例を概観しつつ、コアカリや学習指導要領、テスト理論、ルーブリックなどに基づいた学力形成や学習評価の技法を獲得する。 | 冨家直明 |

**【授業実施形態】**

遠隔授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

**【評価方法】**

レポート100%

**【参考書】**

生徒指導提要（文部科学省）

**【学修の準備】**

1 授業回あたり 2 時間程度の自己学習時間を用意すること。

**【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】**

保健・医療・福祉の現場におけるリーダーとしての役割を理解し、組織運営・人材育成に必要なマネジメント能力を身につけているというリハビリテーション科学専攻博士前期（修士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。

**【実務経験】**

公認心理師、スクールカウンセラーの経験を活かしている

**【実務経験を活かした教育内容】**

公認心理師、スクールカウンセラーの経験を活かした授業を行う